



○地域おこし協力隊員による情報発信を行っています。

古民家活用で 地域の魅力を 発信

2024年
移住

インタビュー

田島 知哉さん(神奈川県出身)
真央さん(東京都出身)
ご夫妻
爽葉ちゃん

お仕事

地域おこし協力隊
古民家を改修した一棟貸
宿を準備中



移住のきっかけを教えてください

知哉さん ホテルの運営・企画等の仕事をしてきましたが、将来いつかは自分でどこかに宿を構え経営してみたいと思っていました。各地探してたどり着いたのが南木曽町です。役場に相談に来た時、丁寧に説明してくれて、そこで初めて地域おこし協力隊の制度も知り、協力隊員として町に入ることにしました。

南木曽町の印象はいかがですか？

真央さん 子供が生まれたばかりで南木曽に来ましたが、空気がおいしく星もきれいだし、自然の中でこのびの子育てできるのが嬉しいです。町に「おやこのひろば」という育児支援の集まりがあり、何人かママ友ができ心強いです。買い物はどこで？美容室は？等いろいろ教えてもらっています。

この古民家はどっという経緯で？

知哉さん 今日も改修の様子を見に来てくれた売主さんから、旧中山道沿いに建つ築150年ほどのこの家を購入させてもらいました。皆さんも宿になるのを楽しみにしてくれています。宿は雨を



テーマにしています。私が山に霧がかかる雨の日の幻想的な雰囲気が好きだということもありますが、実は、全国的に見ても雨量が多い南木曽町だからこそ、「雨」を使った地域おこしのプランニングができるのではと考えています。伝統工芸品の松笠で雨を楽しむとか、雨の日でも地域と連携した文化体験を楽しめる等、いろいろな検討中です。

宿にはカフェも併設されるんですね？

真央さん はい。私がカフェの専門学校で勉強したことがあって、ここで活かせたらなと思っています。育児中のため暫く短時間営業の予定ですが、地域の人たちや学校帰りの子どもたちも気軽に立ち寄れる「通りの顔」みたいになれたらいいなと思っています。

移住者へのアドバイスは？

知哉さん 協力隊の最初の頃町の皆さんに挨拶で回った時、宿の計画も伝えると「何かあったら手伝うよ」など温かい言葉やアドバイスをいただきました。だから自分からどんどん積極的に人と出会っていくほうがいいと思います。